

持経宿、大型連休中の登山者対応

◇実施日… 2021年5月1日(土)～5日(水)

◇参加者… 村吉光夫(1日～3日)

豊嶋寛、樋口義也、前田正(3日～5日)

4名

5月3日(月)

コロナの関係で、持経宿の小屋番を去年は中止していたが、今年行ってみるようになった。

豊嶋車に乗せてもらい、大泊で樋口さんと合流して白谷林道から持経宿に向かうが、ゲートのカギを開けるのが久しぶりで、スムーズに出来ず、自分でもイライラする。

林道の途中で村吉さんと出会い、持経宿小屋の状況を聞く。発電機のカソリンが無くなったので、浦向まで買いに行くという。我々にはとてもできないことだ。

小屋に着くと、小屋前にブルーシートが雨除けに張られ、テーブルに水タンクが並べられていた。

私たちは昼食を早めに済ませ、平治宿水場径改修のための鉄杭を運ぶ。自然林の尾根道は新緑が美しい。

昔、一人できた時にクマを見かけて驚いたことを思い出す。

平治宿ではトイレにペーパーロールを補充したが、小屋内に備蓄が無かったようだ。次回に補充してほしい。

持経宿に帰ると村吉さんは戻ってきていて、小屋番の引継ぎを行った。今日の宿泊者3人はすでに到着していて、私たちも食事の用意や小屋の修理などを行い、豊嶋さんと樋口さんに残り少なくなった水を補給してもらった。

夜はソーラー発電、発電機共に不良で残念だったが、昔の仲間とゆっくりできたことはありがたいことだった。

暗くなってから1名、早朝2時頃に2名、と計6名の宿泊で、行者堂で眠った人もいたようだった。

5月4日(火)

私は足のウオノメが痛いので、近くて楽な水場方面へ林道を歩いてみる。縦走路のコルに出る登り口を探したが、わからなかった。帰りに水タンクの補給をして小屋に戻り、色々と小屋の修理をしておく。シートを片付けや台所の水タンク設置を試みるが、時間がかかり次回の宿題とした。

今夜の宿泊者は3名で、楽しみにしていた「スライド」はできなかった。

5月5日(水)

豊嶋さんは写真を撮るため、今日も平治宿方面へと歩いていく。残った二人で後片付けをして、雨のため予定より早く下山した。

(記：前田)

宿泊者数

1日：8名、2日：12名、3日：6名、4日：3名